

燃料使用量管理手順書

| |
|------|
| 文書番号 |
|------|

| |
|-------|
| PN003 |
|-------|

1. 目的

この手順書は、燃料使用量の管理に努めるための実施手順を定める。

2. 燃料使用量の管理

- 1) 部門内責任者は、燃料使用量の管理の目的・目標を、従業員に周知させる確な履行を促す。
- 2) 部門内責任者は、燃料使用量の管理を的確に行うための担当者を指名する。指名されたものは、活動並びに記録の管理責任をもつ。
- 3) 部門内責任者は、日常の管理において不具合な面があれば、従業員に適切な指示とその履行を促す。
- 4) EMS事務局は、毎月の燃料使用量を確認するとともに、全体環境マネジメントプログラム/実績管理表(燃料)に記録し、環境管理責任者に報告する。
- 5) 環境管理責任者は、燃料使用量の管理状況がプログラムに適合しないか、しなくなることが予測される場合、環境推進委員会にて部門内責任者に、原因の調査を依頼し、原因を特定し、是正及び予防処置に着手し逸脱を防止する。

3. 具体的な方法

車輛の燃料使用量の管理

アイドリングストップを励行し、記録用紙(様式『燃 2』)に実績を記録する。

タイヤの空気圧を適性に保ち、急発進、急停車、空ぶかしをしない。作業時最低必要以外の物を常時搭載して移動しない。(不用不急な物品類、雑多で同種類の工具類、以前の作業等で使い残した材料等)

「作業日報」に定める点検を確実にを行い、記録する。

関連文書等

作業日報

記録用紙(様式『燃 2』)

制定・改訂履歴表

| 改訂版番号 | 改訂理由と主な改定内容 | 改訂年月日 | 事務局印 | 承認者印 |
|-------|------------------|------------|------|------|
| 第1版 | 初版 | H.11.11.15 | | 許田 |
| 第2版 | 環境推進委員会による全面見直し | H.12. 1.15 | | 許田 |
| 第3版 | 環境管理責任者による見直し | H.12. 4.14 | | 許田 |
| 第4版 | 環境推進委員会による全面見直し | H.17. 4.11 | | 許田 |
| 第5版 | 環境推進委員会による全面レビュー | H.17.11.14 | | 許田 |
| 第6版 | 環境推進委員会による全面レビュー | H.18. 2.13 | | 許田 |